

自治体ヒアリングの開催状況と主なご意見

1. モデル事業実施自治体意見交換会	
日時	平成 29 年 10 月 26 日 (木) 10:00~16:30
内容	<p>○行政説明：「高齢者の保健事業」横展開に向けた取組について</p> <p>○先行事業の紹介：「平成 28 年度モデル事業により見えてきたこと」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・服薬指導の取組（薬剤師と連携しレセプト等を活用した訪問指導） 北海道北見市保健福祉部国保医療課特定健診係長 阿部 香理 氏 ・宮古市における要介護者等への訪問歯科健診等モデル事業について 岩手県宮古市健康課新里保健センター所長 加藤恵美子 氏 ・平成 29 年度モデル事業の取組について（複合的取組：フレイルに着目した対策） 宮崎県後期高齢者医療広域連合業務課主査 甲斐 睦宏 氏 宮崎県美郷町健康福祉課主幹 那須 大悟 氏 ・岐阜県後期高齢者医療広域連合における低栄養・重症化予防の取組 岐阜県後期高齢者医療広域連合給付課保健師 小島ひとみ 氏 <p>○講義：「モデル事業の効果的な進め方・ガイドラインのポイント」 講師 あいち健康の森健康科学総合センター センター長 津下 一代 氏</p> <p>○グループワーク：「モデル事業の効果的な進め方」</p>
参加者	<p>(コーディネータ) 津下座長、</p> <p>(ファシリテータ) 石崎構成員、田中チーム員、村中チーム員、(傍聴) 杉山構成員、日本薬剤師会</p> <p>(自治体) 広域連合：○名、市町村：○名</p>
2. モデル事業実施自治体 ヒアリング	
日時	平成 29 年 12 月 14 日 (木) /20 日 (水) 13:00~16:00
内容	<p>【構成市町村】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モデル事業の実施の意義/事業の実施体制づくり/具体的な介入/事業評価 <p>【後期高齢者医療広域連合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・構成市町村に対する保健事業の実施依頼や実施を促進するために行っている働きかけ等/ 広域連合直営の保健事業の実施/事業実施に当たっての市町村との申合せの内容
参加者	<p>(アドバイザー) 津下座長/石崎構成員</p> <p>(自治体) 愛知県大府市・愛知県広域連合/滋賀県広域連合/長野県佐久市・長野県広域連合/鳥取県鳥取市</p>
3. 実務経験者ヒアリング	
日時	平成 30 年 1 月 25 日 (木) 10:00~14:00
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の健康状態やフレイルの状態等の複合的な状況を適切かつ簡易に把握し、必要な介入プログラム等に振り分けるための項目、手法等の検討（対象者抽出基準、アセスメント・評価のための指標、質問票等） ・取組の効果的・効率的な手順等について、見える化の検討（事業フロー、介入プログラム等） ・事業の継続性、波及性、効果性、フィージビリティ等を高める工夫の検討
参加者	<p>(コーディネータ) 津下座長</p> <p>(アドバイザー) 石崎構成員/渡邊チーム員/東京都健康長寿医療センター渡邊裕氏</p> <p>(実務経験者) 田中チーム員/長野県塩尻市麻田氏/北海道北見市阿部氏/大阪府寝屋川市杉山氏/西本チーム員</p>

現場からの主なご意見

具体的内容
庁内連携
・部署間での個人情報の共有が難しい
・庁内連携がとれず、専門職の確保ができないため委託に頼らざるをえないこともあった
・部署をまたがる事業であるためリーダーシップをとる人が必要である
・財政部門との連携の事例もあると良い
・研修がキーワードであり、庁内チームでの連絡会も必要
広域・市町村間連携
・KDB システムデータの連携が課題
・被保険者が広域での医療機関受診をする際にどのようにすればよいか課題
・広域連合がどのように市町村支援・研修をすればよいか分かるが良い
・事業に関心のない市町村に意識付けすることが課題
関係機関との連携
・服薬は、医師会と薬剤師会との関係構築が必要で、そこに行政が間を取り持つことが求められる
・介入した人についての地域包括支援センターや医療へのつながりが課題、医療機関につなぐ際の基準があると良い
・口腔に関して行政と歯科医師会の連携が必要
・口腔の取組を進めるには歯科医師・ケアマネの理解度向上が必要
・介護人材との連携についての記載があるとよい
・民間事業者との連携において、情報連携の注意点があるとよい
・医療機関との連携については、医師の側が何をすればよいか分からないこともある。病気についての医師からの助言をもらう等するのはよいか。医師につなぐ際には診察につなげるような文言を入れると良いのではないかと
事業の実施場所
・自宅以外の場所で実施できるとよい
対象者抽出
・自治体規模等に応じた基準、松竹梅等が示されるとよい
・「対象者」「実施率」が分かりやすくなるとよい
・「口腔」「栄養」について介護保険を利用していないは対象となり得るとしてもらいたい
・対象者抽出には KDB システムを使うことが簡便ではあるが、タイムラグがある
・抽出基準の妥当性が確認できると良い
・優先順位付けの具体的な考え方があるとよい
・抽出基準はやりやすいところから取り組むことも大切
・高齢者に薬の種類数を問うのは難しい
事業参加者の集め方
・声掛けで参加者を募っているため、増えない
・手紙で案内をしたあとだと電話・訪問の受け入れが良い

具体的内容
事業評価
・事業類型別の評価のポイントを示してもらいたい
・薬剤師の視点からの評価のポイントが知りたい
・客観的な分析ができるよう大学等へ分析依頼ができるとよい
・事業評価には数か月が必要
・医療費の改善まで目指すのは困難・維持もみることが必要
・口腔の取組は受診につながると歯科医療費は上がり、トータルの医療費は下がるのではないか
・事業参加者の満足度も一つの指標とすべき
・複合的取組の場合の評価基準が難しい
・参加者が少ないと非参加者（対照群）の設定が難しい
・途中脱落をどのように評価するのか
・生活保護や介護保険等他サービスに繋いだことをどう評価するのか
・事業メニュー別の取組指標があるとよい
・栄養について MNA-SF を掲載してほしい
事例
・より多くの事例があるとよい
・専門職がいなくてもできる事例があるとよい
進捗管理シート
・事業メニュー別の進捗管理シートがあるとよい
・進捗管理シートに「関係者への報告」もあつたほうがよい
・進捗管理シートは大・中・小項目に分けてほしい
その他
・事業企画等相談できるネットワークがあるとよい
・訪問の際に、簡単な健康チェックをしてはかがか
・広域連合同士が情報交換できる場があると良い
・高齢者の保健事業は今できることに着目することが必要